

(様式Ⅲ) 記入例

提出年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

業 績 目 録 学位論文, 原著, 症例報告, 総説, 著書等, 主要学会での発表の別に,
それぞれまとめ, 印刷してください。

氏 名 大 学 太 郎

類 別	番号	著者名(発表者名) 全員の氏名を記載順に記入してください。 学位論文(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター), 原著(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 症例報告(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 総説(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 著書等(分担項目名・書名・初頁～終頁・発行所・年・査続の有無), 主要学会での発表(題目・会名・年; シンポジウム・特別講演等の別)
学位論文	○	* <u>大学太郎</u> . 〇〇〇〇〇における△△△△の形態計測的研究 —××××学的所見との関係— 臨床神経 20:31-39, 1982
原著	1	* <u>大学太郎</u> . 〇〇〇と△△△△との関連. 九州神経精神医学 7: 263-266, 1992 査続: 有無
	2	* <u>Daigaku T.</u> , Oita J., Monka S. Stemlin he.....of DNA in he..... carcinoma. Am. J. Surg. Pathol. 10: 789-794, 1994. (IF:〇〇) 査続: 有無
	③	#Oita J., # <u>Daigaku T.</u> , Monka S. Human uuu... imm...RNA...factor... cancer cells. J. Cancer 19: 452-458, 1995. (# equal contribution) (IF:〇〇) 査続: 有無
	④	Oita J., Monka S., * <u>Daigaku T.</u> Abnormal hu..... imm..... to mu.....Stimu... in with lung cancer. Cancer 69: 2252-2257, 1996. (IF:〇〇) 査続: 有無
	⑤	* <u>大学太郎</u> . 〇〇〇〇からみた薬剤の△△と××法: 髄膜炎(〇〇性・△△性・×××性). 医学と薬学 22: 801-809, 2001. 査続: 有無
症例報告	1	* <u>大分二郎</u> , <u>大学太郎</u> , 文科省一. 〇〇〇〇を認めた△△△△硬化症の2例. 神経内科 31: 104-108, 1993. 査続: 有無
総説	1	Oita J., <u>Daigaku T.</u> 〇〇性△△炎. ×××科ハンドブック(山田◇◇編), 150-250, 南江堂, 東京, 1992. 査続: 有無
	②	* <u>大学太郎</u> , <u>大分二郎</u> . Port..... sh..... Pit... and Comp... in the Dia... Disease (ed. by N. J. Ly..... and M. Ma.....), 475-484, Georg Thieme Verlag, N Y, 1993. 査続: 有無
著書等	1	<u>Daigaku T.</u> , Monka S. Mucosal..... against bacterial in the nose. VIV World Congress ofgy Head and Neck Surgery, Round Table, 1989, Madrid, Spain. 査続: 有無
学会発表	1	<u>大学太郎</u> , 山田花子, 文科省一 〇〇〇〇〇領域レーザーサーミア臨床の△△△△に関する研究. 第×回レーザーサーミアシンポジウム 1995. 8. 犬山市.
	2	<u>大学太郎</u> , 〇〇〇〇〇における△△△△△と×××××の変動について. 第〇〇回臨床△△学会総会 1998. 10. 千葉市. 一般演題 上記ほか〇〇回
その他	1	<u>大分二郎</u> , <u>大学太郎</u> , 文科省一. 〇〇〇〇を行う△△△△システムの検討. 神経内科 31: 104-108, 1993.
		(全ての業績) 原 著 7 7 編(和文 5 0 編, 内ファーストオーサー 1 7 編) (欧文 2 7 編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8 編, インパクトファクター計〇〇点) 症例報告 1 0 編(和文 5 編, 内ファーストオーサー 2 編) (欧文 5 編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 1 編, インパクトファクター計〇〇点)

		<p>総 説 25編 (和文15編, 内ファーストオーサー 7編) (欧文10編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8編, インパクトファクター計〇〇点)</p> <p>著 書 等 30編 (和文20編, 内ファーストオーサー15編) (欧文10編, 内ファーストオーサー 5編)</p> <p>そ の 他 2編 (和文 2編, 内ファーストオーサー 1編) (欧文 0編, 内ファーストオーサー 0編)</p> <p>シンポジウム, 特別講演等 25回 (内トップネーム 20回) 一 般 演 題 国際学会 30回 (内トップネーム 25回) 国内学会 50回 (内トップネーム 39回) 地方学会 15回 (内トップネーム 12回)</p>
--	--	--

《記載上の注意》

(1) 学位論文について

学位論文は、業績目録の冒頭の類別欄に「学位論文」、番号欄に○と記入し（原著としての番号は付けないで下さい。）、別刷を添付してください。

(2) 過去5年間の主な業績について

ア 学位論文、原著、症例報告、総説、著書等、主要学会での発表等の別にそれぞれ類別毎にまとめて和文、欧文を併せて古いものから発表順に記載し、類別欄にその類別を記入してください。また、インパクトファクター該当については、() 書きにて点数（最新版）を表示してください。

学位論文、原著、症例報告、総説の著者欄記入にあたっては、すべての corresponding author の左上端に「*」印をつけてください。

ファーストオーサーが複数である場合は、ファーストオーサーの著者全員の名の左上端に「#」印をつけ、著者名記載の後に「(# equal contribution)」と記載して下さい。

著書等は、単著（監修を含む）、共著及び分担執筆の別を記載し、共著の場合は、著者全員の氏名を記入してください。また分担執筆にあつては、編集者の氏名（代表者1名）を記入してください。

イ 番号欄は、類別毎に一連番号を付し、提出する原著・著書等については、当該番号を○で囲んでください。

ウ 著者名欄は、著者全員の氏名を順序に従って記入し、本人の氏名にアンダーラインを付してください。

エ 未印刷の業績については、当該編集委員会の掲載受理証明書を添付してください。

オ 年報・報告書・letter to editor・プロシーディングは、「その他」のところにまとめてください。

カ 抄録は、原著に入れないでください。

キ 主要学会での発表は、シンポジウム、特別講演等の発表のみ記入してください。